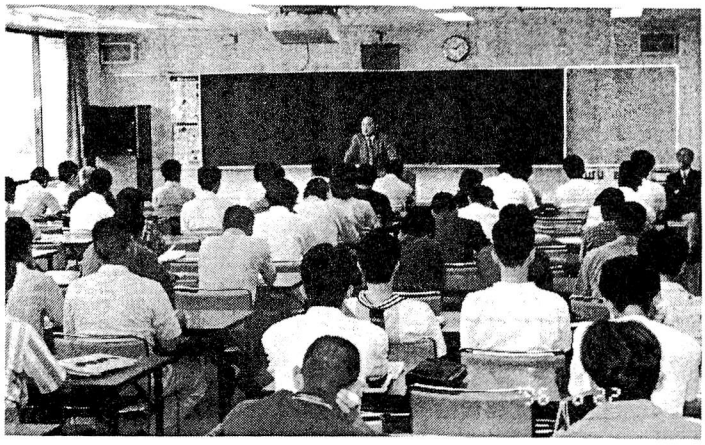
愛板

愛知県
板金工業組合

名古屋市昭和区
北山町3－8－6
電話　732-1226
発行広報委員会

平成8年度 保証制度関係講習会

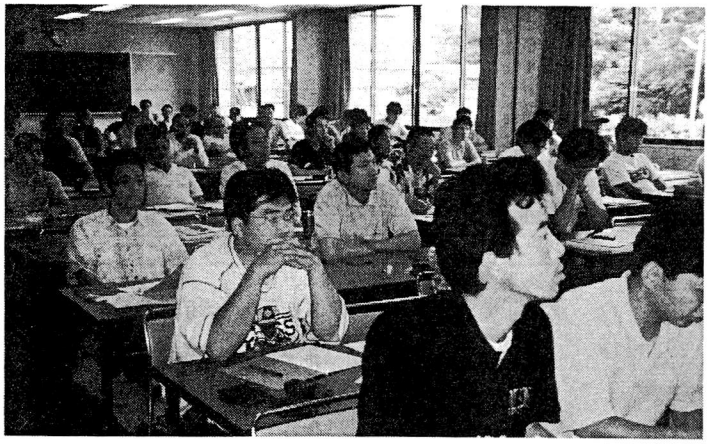


6月22日・23日で岡崎地域職業訓練センターにて70名の出席のもと行われました。

理事長の挨拶の中で分離発注をめざすその為に、保証制度を活用しましょうとされた。又、各講師の方々の言葉にもあるように、もう経験と勘では通用しない事を実感した。計算による裏付けがなければ速答もできまい。官庁や設計管理の仕事をしようと思えば、思うほど、そういった説明や速答を要求される。いつまでも問屋さんをあてにしていては進歩があるまい。計算の出来る、出来ない、保証制度が出来る、出来ない、板金業者は今後差がでるだろう。早川氏、斉藤氏が言われるように、この制度を利用する事によって、技術力がアップし、アウトサイダーの締め出しにもつながるだろう。私個人も小さな物件から、始めようと思う。70名の出席者の皆様、2日間座りっぱなしで腰が痛くなったでしょう。ご苦労さまでした。又、講師の方々、ありがとうございました。お礼申し上げます。

追伸、個人的にですが風荷重、雨量計算の勉強したいです。それから、ポケベル、携帯電話が気になった。失礼だが、非常識である。それなりの連絡方法があるはずである。経営者なら気をくばるべきだと思う。

東三　吉田



平成8年度 保証制度関係講習会カリキュラム

6月22日（土）

1 鋼板製屋根構法
- (1)施工共通事項（銅材を含む）　90分
- (2)屋根荷重
  - a）風荷重
  - b）カタログによる算定
  - c）計算による算定
  - ｝120分
- (3)屋根施工法
  - a）折板葺
  - b）瓦棒葺
  - c）波板葺
  - d）一文字横葺
  - ｝150分

6月23日（日）

2 雨樋施工法
- 1）住宅雨樋
- 2）非住宅雨樋
- 3）雨量計算
- ｝150分

3 施工共通事項用語の解説　60分
4 保証制度　60分
5 金属外装施工法　120分
6 質問　30分

◇県板事務局夏期休暇◇

日頃は、組合事務にご協力を賜り有り難うございます。

県板事務局は、8月13日(火)から8月18日(日)まで休まさせていただきますので、宜敷くお願い致します。

連絡事項は FAX 052―732―1733へ

愛知県板金工業組合では六月二十二～二十三日の二日間、岡崎地域職業訓練センターで開催した。

この講習会の開催に当たっては昨年度から東三支部から開催の強い希望があり二月十六日の技術研究委員会で（以下、技研委員会）協議六月頃を目標で二日間の講習会を豊橋万面で行うことに決定した。

五月九日の技研委員会では講習会を職業訓練短期課程講習として行えば県の補助が受けられることもあり昨年同様、岡崎の地域職業訓練センターで六月二十二日・二十三日に行うことに決定。講習内容、トレーナーの受け持ち割り当てなどを協議した。

五月は全板大会や総代会や理事会などに加え各支部の総代があり今年度二回目の技研委員会は六月十一日に行いカリキュラムやトレーナーの受け持ち受講者の申込状況など確認した。受講者を募集するに当たり受付から締め切りまでの期間が少し短い事もあり一寸と心配であったが七十四名申し込みがあった。

今回の講習を受ければ適用店の看板がもらえるかと議題になり組合の方針で多くの組合員に保証制度を活用していただくために今回二日間の講習を受講した事業所には看板を実費で製作することに決定した。

講習には七十四名の申し込みがあったが当日欠席があり七十名の参加であった。しかし

使ってみよう 保証制度

～受講者70名～

技術研究委員会

受講した組合員の2/3が二十～三十歳代の若い組合員であり保証制度に前向きに取り組んでいこうと言う考えが現れていることが分かる。

★昨年の十一月に金属外装の講習会を行ったが、参加した組合員から受講費を払い一日休みにして参加しただけの価値がなかったとの投書があった。保証制度関係の講習会は以前からも今回もそうだが標準構法の講習会であり日頃自分たちが施工している作業の基本をもう一度勉強して保証制度に適応しているかどうか、保証制度ではこの様に施工して下さいとの基本を勉強する講習会であり、聞いていると毎日している作業のことでつまらないと思う。

しかし、一般工事では通常施工しないピッチで緊結しなければいけない部分や、他にも約束事がある。この講習会は保証制度関係であるが責任施工が基本でありそれに共同保証事業を行うことにより組合員の社会的地位と信頼度を高めることが目的であり、正式には『責任施工保証制度』というこの制度を活用できる者は愛知県板金工業組合の組合員であって保証制度の講習を受講して県板に登録を済ませ申請書に必要事項を記入して組合に申し込むことにより認められれば保証書が発行される。この様に講習を受講した者を対象として保証書が発行されるので受講していない組合員や愛知県板金工業組合員以外の板金店とは社会に対する信頼度が違う。しかし一般には保証制度も全くと言うほど知られていないのでこれを機会に今回講習会を受講した組合員も含めて一人でも多くの組合員が保証書の申請をすることにより自意識を高め合わせて社会的地位が向上するよう保証制度の活用が望まれる。

今回の講習では最後に講習会に対するアンケートを受講者全員に提出してもらった。

その中で「保証制度を利用してみようと思いましたか」との質問に**73・3%の受講者が利用してみたい**と解答している。アンケートのまとめは後日に発表するとして……。

鷲見

平成八年四月一日から保険料も安くなり補償限度額も上がったことでより信頼度も上がったのではないか。

一覧表を記載する。

(1)賠償保険の内容

1）保険金支払いの対象となる場合

施工を修了し、保証書とともに、顧客等に引き渡した後に板金工事業者の施工上の欠陥により顧客等の財物に損害を与えた次の場合

イ．所定の手続きにより、保証センターの保証書が発行されている施工物件で保険料が払込まれていること。

ロ．工事が不完全であったことを保証センターが認定した故障であること。

2）保険金が支払われないもの

イ．工事が不完全だったことによる当該工事の再施工費用。

ロ．板金工事の施工業者又は保証センターが損害保険会社に不実の通知又は故意による通知の遅滞・脱漏があったもの。

ハ．事故の際、関係者の協力が得られなかった場合。

3）補償事項

※期間中とは

対象	期間
屋根の防水	5年以内
壁の防水	〃
雨とい	2年以内

①補償限度額

◇1事故　2,000万円
（免責 1,000円）

◇期間中　2,000万円

②支払われる保険金

イ．財物の修理費用

ロ．裁判費用・弁護士費用

ハ．損害保険軽減費用

4）補償期間

保証センターの発行する「保証書」に記載した保証期間。但し、引渡し日から起算して次の期間を越えることはない。

①屋根の防水 5年、②雨とい 2年、③壁の防水 5年

(2)保険料

1）算定の区分

工事の種別	算定根拠	保険料
①屋根工事	施工面積	施工面積300㎡以下、300㎡を超え1,000㎡以下、1,000㎡を超える各部分に区分する。
②外壁工事	同上	施工面積1,000㎡以下とそれを超える部分に区分する。
③雨とい工事	といの長さ	軒どい及び竪どいの延べ長さによる。

2）適用保険料

上記の各態様に応じ単位あたりの適用保険料を次のとおりとする。

但し、① 各工事とも1件あたりの最低保険料は300円であること

② 保険料は10円未満を四捨五入し、10円単位とすること

③ 屋根工事に伴う雨とい工事は雨とい部分の保険料は不要とすること

①屋根工事（1㎡あたり）……平成8年4月1日から適用

区分	300㎡まで	300㎡超～1,000㎡	1,000㎡超
用途、材料別による区分なし	8.0円	6.0円	5.0円

例：1,500㎡の屋根工事の場合

300㎡までの部分　……8.0×300＝2,400円

300㎡超～1,000㎡までの部分……6.0×700＝4,200円

1,000㎡超える部分　……5.0×500＝2,500円

合計＝9,100円

②外壁工事（1㎡あたり）……平成8年4月1日から適用

区分	1,000㎡まで	1,000㎡超
用途、材料別による区分なし	5.0円	4.0円

③雨とい工事（1mあたり）……平成8年4月1日から適用

区分	1mあたり
区分なし	4円

全国安全週間

7月1日▶7日　準備期間6月1日▶30日

「危なかった」は赤信号
つみとろう職場に潜む危険の芽

平成8年度の全国安全週間が訪れました。「人間尊重」の基本理念の基に実施されてから第69回を迎える事となった。それぞれの職場における積極的な安全活動により、安全水準が着実に向上してきておる中で、なお数多くの労働災害の発生を感知するとき、災害の原因の究明が求められる事となろう。

愛知県内では昨年末までの結果をみる時、116名の尊い命が失なわれていると云う残念な現況となっている。一方4日以上の休業災害では、一万人を下回りましたが、依然として類似災害が多く、分析して見ると、転落、墜落、挟まれ、感電などが建設関係に多く、一方では交通事故関係も多発しているとの事である、この様な観点から今年度のスローガンは、「『危なかった』は赤信号、つみとろう職場に潜む危険の芽」となっているのも理解出来る。

いわゆる作業中に於けるヒヤリハットの体験を見過ごすことなく、職場の中に潜む危険因子を排除する事により、未然に防止する対策と云えよう。

私達の作業環境を思い浮べる時、先づは、服装・保護具・設備の簡素化・ミーティングの省略・無資格による操業・合図の不徹底などなど数多くの問題点が指摘されよう。

日頃は忙しさに追われ感心が薄れがちな今日この頃ではあるが、これらの手法を安全週間中に採用し、元請・工務店などで実施される安全大会を通じて、研鑽される事が望ましく、大いに成果が得られるのではないか、又最寄りの基準協会にお尋ねし、助言を仰ぐのも手段と云えよう。

私共の業界も危険作業が多く、災害に遭遇され悩み、苦しんでいる仲間達が存在すると見聞する時、悲惨な思いがつのり、一日も早く再起される様願うものです。これらの問題解決に当っては、事業主並びに働く人々の末端に至るまで、再認識を自覚させ、作業環境を整え、将来に向って無事故。無災害で望みたいものです。

「災害は忘れた頃にやってくる」

沼澤

◆江南支部◆『親睦旅行』

本年度は、第48回全国建築板金業者大会参加を兼ね、総会及び親睦旅行が行なわれました。

5月14日江南駅前東ロータリーに集合。参加者19名（女性3名）にて8時30分出発するはずが、何かの手違いで1名姿が見えず。役員さん、携帯電話で彼方こちらに連絡、15分ほどして、なんとか連絡が取れ、途中乗車する事で出発に漕ぎ着けた。

車中、石井輝憲支部長の挨拶があり、その中でこの大会において当支部でいろいろ活躍、ご援助頂いている、菱川浩延氏の表彰の件が発表された。

途中、多賀S.Aで休息し、大会の行われる大津に向かった。

大津I.Cを降り、道の所々の立て看板と大会スタッフに迎えられ会場となる琵琶湖湖畔の大津プリンスホテルへ向かう。（その前に三井寺で昼食を取る。三井寺参拝も忘れずに）

会場駐車場には、各県板のバスがすでにつめかけており、屋外会場には、各機械メーカー、商社等各々がいろいろ思考を施し展示活動を行なっており、活気に満ちていた。

展示場に行く者、大会式典会場に向かう者、それぞれに分かれ業者大会を楽しんだ。

3時に駐車場に集合し、今夜宿泊する加賀山代へとバスを進めた。（車中は大会場で買物した荷物でギッシリ）

道程がかなりあり到着してからの時間が取れないため車中で総会を開き、例年のごとく行事は無事終了し後はカラオケのオンパレード（アルコールも進む）

6時頃旅館に到着。

慌ただしく入浴後宴会、宴会の席上、菱川夫妻から本日表彰に対しての挨拶が行われた。

日頃の疲れも忘れ、アルコールにさそわれ、仕事の話、趣味の話、カラオケ等で宴も盛り上がった。9時頃にお開きとなり夜のネオン街へ繰り出した人もあったとか。

翌日（15日）は女中さん達に見送られる中旅館を後にし、小松市にある日本自動車博物館を訪れた。ここには二輪車、乗用車、トラックなど昔懐かしい国産車・外国車が約500台、3F建ての建物所狭しと展示されている。（何時でもエンジンを動かし運転できる様に整備されている。）

昔の映画で見るような車、ニュース・映画など若かかりし頃見た車、又自分達が乗った車、世界の歴史を作ってきた車（ベトナム戦争の時のジープ等）その時代を思い出させてくれ、時間が短く感じられた。

バスに戻ってからの皆々の会話は若い頃にタイムスリップし車の講演会が開かれていた。（例えば、二輪車の横に車を付けそこに荷物を乗せ仕事に行った。）

三輪車の運転は今のような丸ハンドルでなく棒のようなハンドルなので非常に難しかった。）

芝政で昼食。芝政と言えばパターゴルフ。

昼食を終えると早速腕自慢達はパターゴルフ場へ、1時間後暑さを疲れで汗一杯でお帰り。ご苦労さまでした。

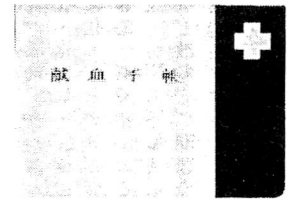
バスの中ではお昼寝。

芝政を後にし、越前海岸を通り、途中魚市場などにより買物ツアーをし、6時頃無事江南駅に到着し、明日からの健闘を誓いあい解散した。

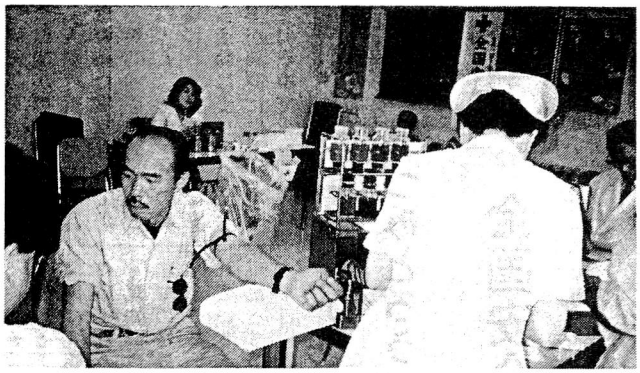
機会がありましたら一度日本自動車博物館を訪れて若き頃にタイムスリップしてみませんか？

江南　石川

知多支部



「献血でわかる体の情報」



入梅のシーズンが訪れ、蒸し暑く水飢饉の心配が懸念されそうなシーズン、気分も一新して献血活動にと、知多支部は恒例の企画として去る6月12日(水)午後一時より、㈱武豊屋様のご好意を迎ぎ実施された。当日は天候に恵まれ最適、今回の提供者はすべて400ccにチャレンジして頂き成果を収めたが、今一歩？企画担当者は毎回頭痛の種は、P.Rと粗品の選定ではなかったか、「ともしびを絶やすことなく」継承するのも大変ではあるが、永遠にと願うものである。

沼澤

安全は自分でするもの

先日、友人の葬儀に参列しました。彼は腕のいい大工さんでした。奥さん、お母さん、高校生中学生の子供さんを残して43才の若さで逝ってしまいました。ご家族の憔悴しきった姿を見ると、いいがたいものがあります。

原因は筋かいを入れる作業中、一階の梁から落下しました。瓦屋さんが、下準備をしていたら、何か音がしたので、のぞいて見たら頭から血を流していたとの事でした。救急車を呼び隊員が車にのせる時には瞳孔が開いてたそうです。ヘルメットを着帽していたかどうかは知りませんが、ヘルメットが保護するような状態での落下だったら、多分、死なずにすんだのではないか、と思えば思うほど、残念でならないのです。

平成8年4月の安全パトロールの結果を見ますと、71現場のうち55件でヘルメット未使用の結果が出てます。昔と違って、今は安全衛生が重視される時代です。又、人に言われてするものでもないのです。自分の身は自分で守るものなのです。統計を見ると、事故やケガの90%は不注意からおこるもので、もらい事故はほんの数%しかないのです。我々の仕事は危険と隣合せの仕事なんだと再認識しました。友人の死という犠牲のもとに、合掌。

労働省がまとめた平成7年1年間の労働災害発生状況（2月10日現在の速報値）によると建設業の死亡労働災害は、4年ぶりに、千人を突破した。前年(速報値)と比べ67人、7.1%の増の千六人となり同省では、建設業界、建設各企業に対して「もう一度、原点にかえって安全管理を見直してほしい」と呼びかけている。死亡労働災害千六人のうち約四割が墜落災害とある。昨年一年間の建設業の死傷災害発生状況（7年12月末現在）は、死傷者数が三万七千四百十四人で前年と比べ二千六四七十四人、六、七%の減少。

死傷災害が減少している一方で、死亡災害が増加していることについて、労働省では、「災害ポテンシャルが重くなっているのではないか。いったん災害が発生すると死亡災害につながりやすくなっているのではないか」と推測している。

★ポテンシャル
Potential
・可能な・潜在的

パパ

第20回東板会ゴルフコンペ

6月6日梅雨空の合い間をぬって、うす曇の中、6月にしてはくもり、暑くなく、いいゴルフ日和りでした。今日の伊良湖シーサイドC.C.はコウライグリーンで海に近いため、けっこう芝目が強く、グリーンは遅いし、ベントに慣れてる皆さん、グリーンで苦労したようです。表彰式は、伊良湖カントリーC.C.が改装中の為、近くのレストラン黒潮で行なわれ海の幸に舌鼓しながらの表彰式でした。

結果は

優勝　笹野武夫
準優勝　小林清夫
3位　小松大三

の各氏でした。

東三　吉田

6月各支部の動き

昭和支部
7日　支部例会16名
中川港支部
25日　PL法講習会25名
一宮支部
19日　青年部例会12名
津島支部
5日　定例会　15名
小牧支部
8日　会合　6名
碧南支部
28日　青年部定例会
豊田支部
8日　第3回役員・班長会　13名
22日　建設連合会々員の会議10名
西尾支部
19日　支部役員会
26日　青年部定例会
27日　夫婦グルメツアー日間賀24名
東三支部
1日　定例会　15名
6日　東板会ゴルフコンペ　伊良湖カントリー28名
26日　三役会　6名
岡崎支部
13日　役員会　20名

編集後記

過日、閣議決定により平成九年四月より消費税々率が五%に引上げられる事になった。

緩やかに景気の回復が見込まれるとの政府見解から、一時凍結されていた税率引上げが本決まりになり約五兆円の税増収が見込まれるそうだが、日本の実質経済成長率は平成八年度の政府見通しでも二・五%に過ぎない。この様な低成長の時に国民は抵抗もなく単順に受入れられるだろうか。それともお上のやる事に間違いはないと思われるだろうか。

民間経済研究機関の各社も、増税による消費抑制効果が働き需要断層が表面化して実質消費の低迷の回復は長期にわたる、と指摘している。

弱者救済は掛け声ばかりで改革の進まない政治体質は、住専処理など世論の大きな批判の有る中で、再び金融・財政・政策失敗のツケを国民に回されてはたまったものではない。

六月二十八日金曜三〇七号編集会議
委員　五名　出席
午後五時半終了(S)